

「第 11 回日仏共同研究セミナー」を開催しました

2024年11月26日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所(以下、鉄道総研)は、11月6日から8日の3日間、「第11回日仏共同研究セミナー」を開催しましたのでお知らせします。

鉄道総研は、1995年にフランス国鉄(以下、SNCF)との共同研究などに関する協定を結び、各技術分野における共同研究を進めるとともに、情報交換を行っています。共同研究セミナーは、共同研究に関わるマネジメント、成果の報告および今後の計画策定を目的として、2年に一度開催しています。対面での開催は、2018年(第8回)以来6年ぶりとなります。

本セミナーには、SNCFより、最高技術責任者のキャロル・デノー(Carole Desnost)氏ら8名、鉄道総研からは理事長の渡辺郁夫ら40名が参加しました。

マネジメント会議や共同研究報告会が開催され、引き続き鉄道総研とSNCFが密接な連携を取り合って共同研究を促進すること、次回は2026年にフランスで行うことなどについて合意しました。



写真1 合意内容にかかわる議事録に署名したSNCF・鉄道システム物理部長のヴァレリー・ヴェルサイユ氏(右)と鉄道総研・研究開発推進部長の室野剛隆(左)

(1) マネジメント会議 (11/6)

両機関の幹部が参加し、鉄道総研から「鉄道における降雨災害に対する研究開発」を、SNCFからは「鉄道における省エネルギーと脱炭素化」について紹介をし、自然災害に対するレジリエンス強化や脱炭素化、省エネルギー化の課題を共有しました。また、今後とも、両機関の連携を強化して課題に向けて取り組むことを確認しました。特に、強風対策については、新たな課題として意見交換を進めることとしました。



写真2 マネジメント会議

(2) 共同研究報告会 (11/7)

両機関の研究者が 2022～2024 年実施の共同研究テーマ3件と情報交換テーマ7件の成果、および2024年から2年間で実施する共同研究テーマ2件と情報交換テーマ7件の計画を発表し、活発な議論が行われました。



写真3 セミナー参加者